

讃岐民芸館 瓦館特別企画展

# 「鬼瓦 ～災いを払い、福を招く～」

かつては神社や寺院のみならず日本家屋にも、鬼や縁起のよいものなどの形をした鬼瓦(装飾瓦)が使われ、屋根を飾っていました。鬼瓦(装飾瓦)は、昔から住む人の厄除けや守り神、招福などとして好まれて、多くの鬼師によって様々な形が創作され、昨今、人々の生活様式の変化とともに姿を消していく中、コレクターも多くいるようです。

当園の瓦館でも鬼や鯨、鶴・亀などの鬼瓦(装飾瓦)を展示しており、このたび、高さ・幅とも約1.6m、寺社仏閣にあったであろう大きな鬼瓦を含む100点が寄贈され、収蔵品のラインナップが一層豊かになりました。

その寄贈品の中から、表情が異なる様々な鬼のほか、巧みな細工が施された唐獅子牡丹、リアルさを追求した七福神の恵比寿など約30点を展示する特別企画展を開催します。

高い屋根の上でなかなか鑑賞できなかった鬼瓦(装飾瓦)を、本企画展において間近でご覧いただき、鬼師の創作技術の巧みさやこだわりなど、鬼瓦(装飾瓦)の魅力を十分にご堪能ください。



## ◆開催概要◆

- 【会場】 栗林公園 讃岐民芸館 瓦館等  
【期間】 令和6年3月29日(金)～6月2日(日)  
【料金】 無料 ※ただし栗林公園入園料が別途必要